

「八雲」名の一考

根室市外三郡医師会
町立別海病院

やまうち
山内
おさむ
修

昨年(2021)、私は島根県に旅行に行きました。松江城を見学した後に、隣にある小泉八雲記念館に入ってみました。妻の希望の所にて同行した次第です。八雲は「耳なし芳一」しか知らない私でしたが、その記念館が面白く、印象的でしたので、別海に帰ってきてから調べてみました。

結婚して小泉姓となり、名を八雲としたラフカディオ・ハーン。彼は1850年6月27日、ギリシャのレフカダ島で誕生。2歳の時に父(英軍医補)の転任でアイルランドの父の実家に移ります。英語が話せないギリシャ人の母は6歳の時に故郷(希臘)に帰ってしまいます。また、父親はかつての同級生と再婚したため、7歳で両親に捨てられたハーンは、父方の大叔母に引き取られました。11歳でフランス、13歳でイギリスの神学校に入り、16歳の遊戯中にロープの結び目が左目に当たり失明。19歳時、大叔母の縁者の勧めで移民船に乗りアメリカに渡ります。赤貧のフリーター後、24歳時シンシナティで新聞記者となり、ある程度成功します。しかし、混血黒人との結婚に読者の反感(人種差別)強く解雇。その結婚も半年で破局し、再び放浪と新聞寄稿・翻訳生活になりました。滞在地のカリブ海に浮かぶマルティニーク島などを書いた長編紀行文が、アメリカの編集長の目に留まり(37歳)、ハーンの日本への取材企画が通ることになります。その時期、アメリカでは1876年のフィラデルフィア万博、1884年のニューオーリンズ市制100年記念博覧会などでジャパン・ブームが起こっていました。ハーンは日本の取材を3週間程度と考えると、1890(明治23)年4月、39歳の時に日本の土を踏みます。

日本の珍聞奇談を売ろうとやって来た、押しかけ突撃ルポライターである隻眼ハーンせきがんの生活は、毎日が無一文状態でした。そこで文部省の服部一三が松江の尋常中学校の英語教師の職を探してくれたのです。服部氏はニューオーリンズ市制100年記念博覧会で新聞寄稿時代のハーンと会っており、帝国大学教授のチェンバレン(「古事記」の翻訳家)からハーンの職探しを頼まれていたようです。同(明治23)年8月・40歳時に松江へ赴任し教鞭をとったハーンは、生徒たちから「へるん先生」と慕われます。翌1891(明治24)年1月、ハーンは18歳年下の小泉セツと筑道湖湖畔の家で同棲生活を始めます。松江に来て1年3ヵ月後の1891年11月、熊本の第五高等中学校(現・熊本大学)の英語教師になりました(大栄転)。その後ハーンは神戸の新聞社勤務を経て、東京帝国大学と早稲田大学の講師になっていきます。1896(明治

29)年に小泉セツと正式に結婚し「小泉八雲」と改名。日本に帰化し、三男一女をもうけました。1904(明治37)年9月26日死去・享年54歳でした。

次に、ラフカディオ・ハーンの名前の由来などを紹介します。出生地のギリシャのレフカダ島は、当時・英国が植民地支配をしていた所です。ラフカディオの名はこのレフカダの英名アイルランドに因ちなんでいるようです。ハーン家代々の紋章(愛蘭土)は三羽の白鷺です。ハーンは松江での正月に紋付袴姿を披露、紋は「鷺の下げ羽」の日本風デザインとのこと。松江で「へるん先生」と呼ばれたのは、英語講師の契約書が「ヘルン」とカタカナで書かれていたためです。彼はこの呼称を大層気に入り、ひらがなで「へるん」の円い判子はんこまで作っています。ちなみに鷺は英語でheron、発音が似ていたから気に入ったとも。熊本時代(1893)に長男・一雄、誕生。ラフカディオの「カディオ」から「かずお」とのことです。

ここから、私の八雲の名前に関する推察です。「八雲」の名は、小泉セツの養祖父・稲垣万右衛門の命名です。『古事記』内の日本最古の和歌「八雲立つ出雲八重垣……」から取って名付けたようです。

ここで、私は「八雲」を「八雲」と読んでみました。そして①「八」の上をつけてカタカナの「へ」に、②「八」をカタカナの「ハ」と読んでみました。

①「八雲」→「へウン」→「へるん」

②「八雲」→「ハウン」→「ハーン」

自分の名前や紋章にこだわり続けてきた八雲です。①②も考慮し、自分が納得する名前として「八雲」を「良し」としたはず、と私は考えています。この推察は、私が調べた物には書いてありませんでした。もしありましたら、ご連絡ください。

ラフカディオの出生島・レフカダは、古代ギリシャ語で「彷徨(ほろころう)」を意味しているとのこと。放浪生活が長かったハーンの頭の中では、①の「へウン」は「ヘヴン(heaven・天国)」に繋がったのかもしれませんが。

〈参考〉

- ・芦原 伸著「へるん先生の汽車旅行」。
- ・小泉 時・凡共編「文学アルバム 小泉八雲」。
- ・小泉八雲記念館・展示物。

